



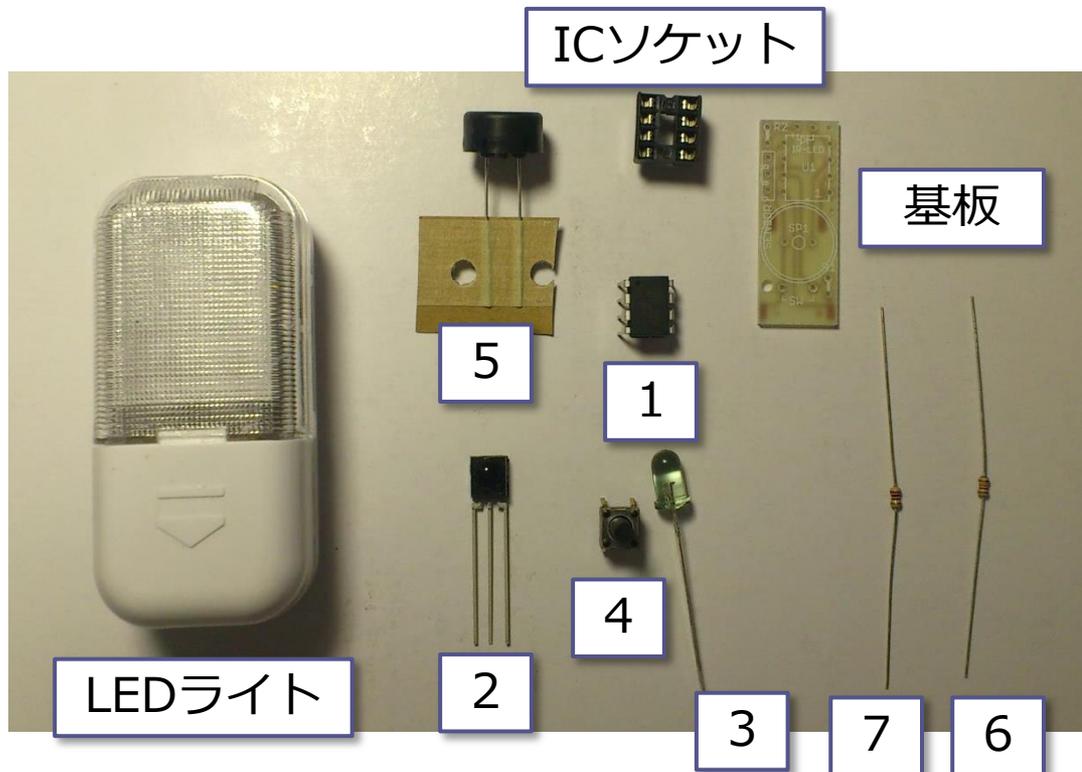
ワンキー赤外線学習リモコンの作りかた

第1版 (Maker Faire Tokyo 2013)

材料

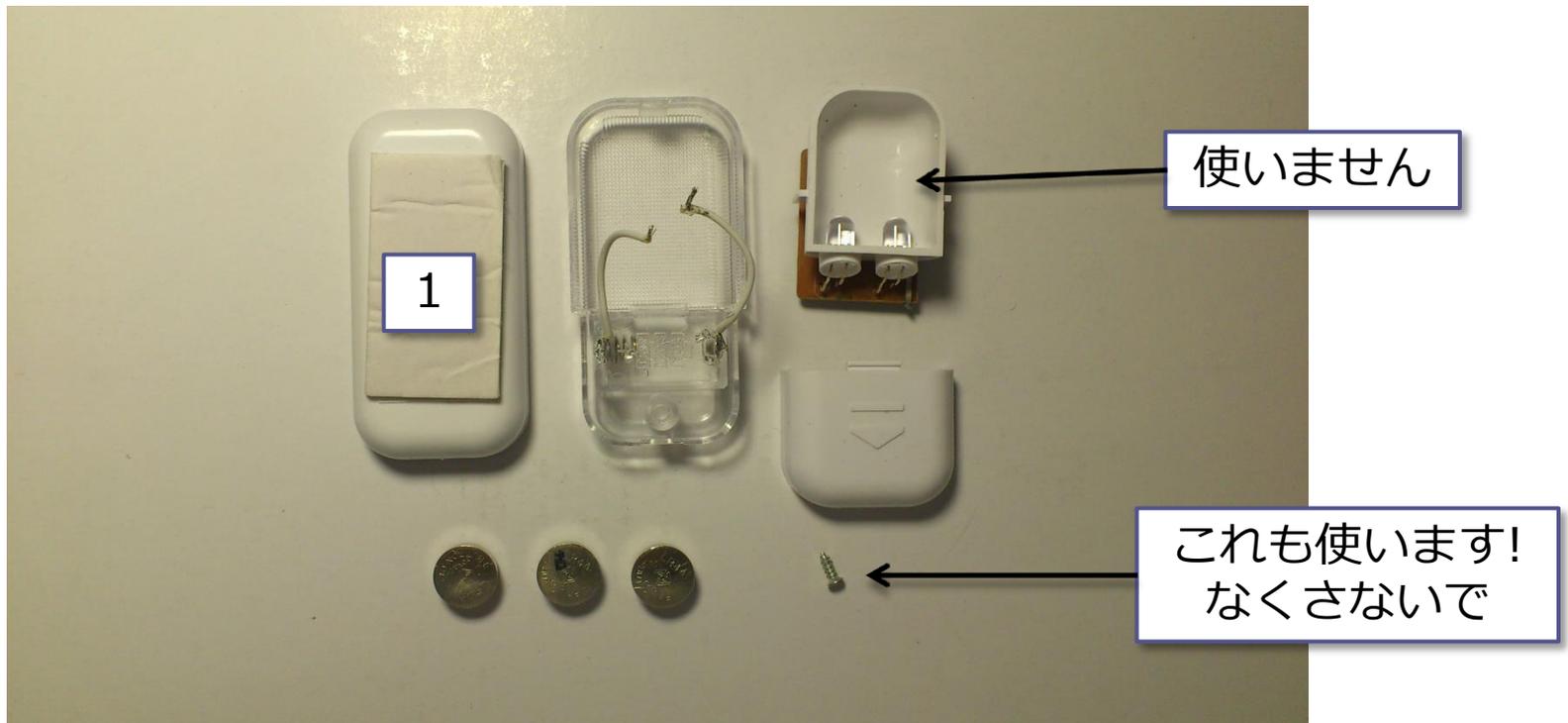
	回路図での記号	型番	説明	入手先
1	UI	ATTINY85	AVRマイコン (DIP 8pin)	DigiKey
2	RPM7138-R	RPM7138-R	赤外線受信モ ジュール	DigiKey
3	IR-LED	OSIR5113A	5mm赤外線LED	秋月
4	SW1	FSM4JH	タクティルスイッチ	DigiKey
5	SPI	PKM13EPYH4000- A0	ピエゾブザー	DigiKey
6	R1	10k Ω	抵抗	秋月
7	R2	20 Ω	抵抗	秋月

材料



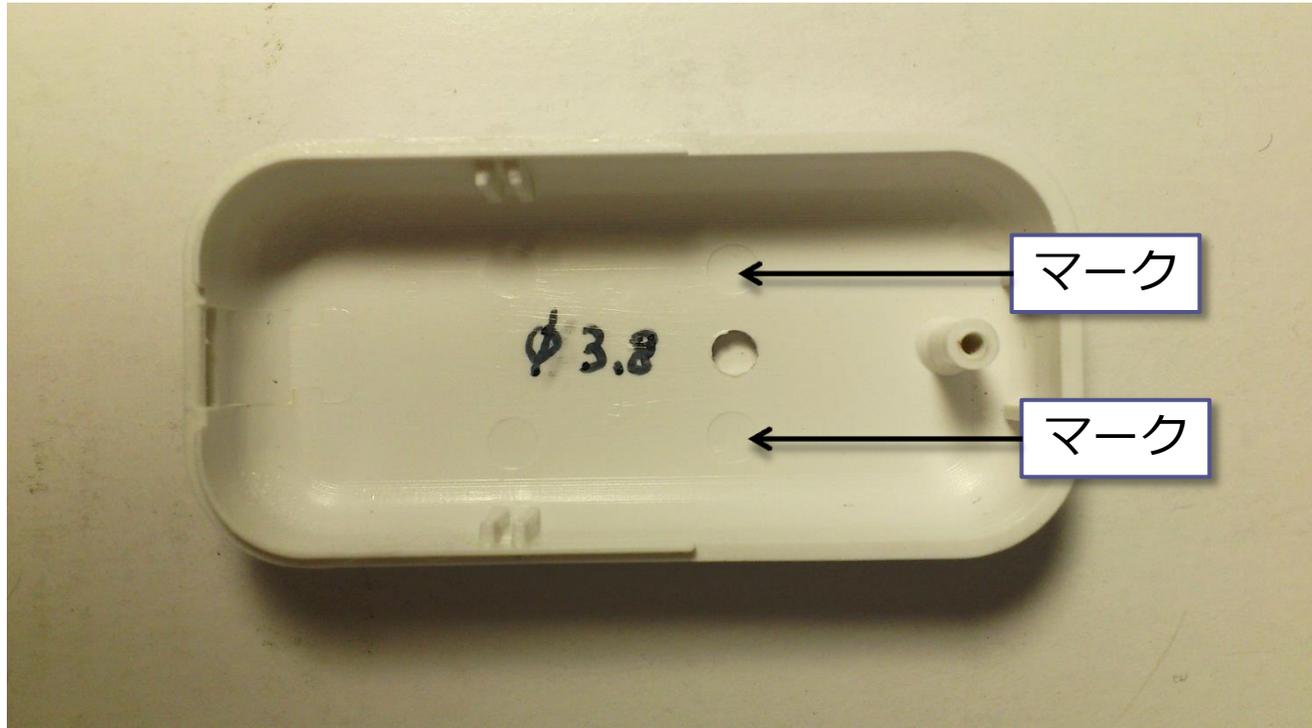
NO	回路図での記号	型番	説明
1	UI	ATTINY85	AVRマイコン (DIP 8pin)
2	RPM7138-R	RPM7138-R	赤外線受信 モジュール
3	IR-LED	OSIR5113A	5mm赤外線 LED
4	SWI	FSM4JH	タクティルス イッチ
5	SPI	PKM13EPY H4000-A0	ピエゾブ ザー
6	R1	10k Ω	抵抗 (茶黒橙金)
7	R2	20 Ω	抵抗 (赤黒黒金)

LEDライトの分解



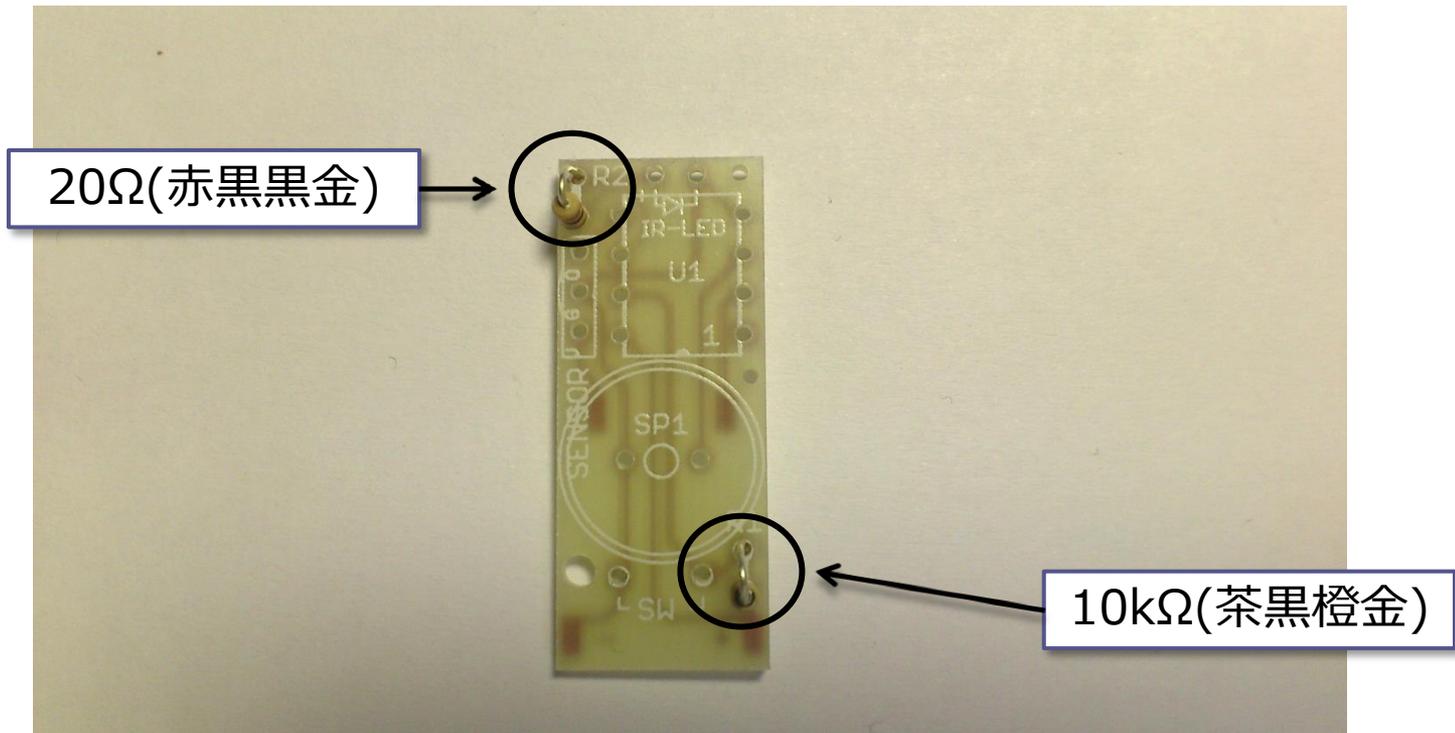
- ▶ 1の粘着テープをはがし液ではがしてください

ケースへの穴開け



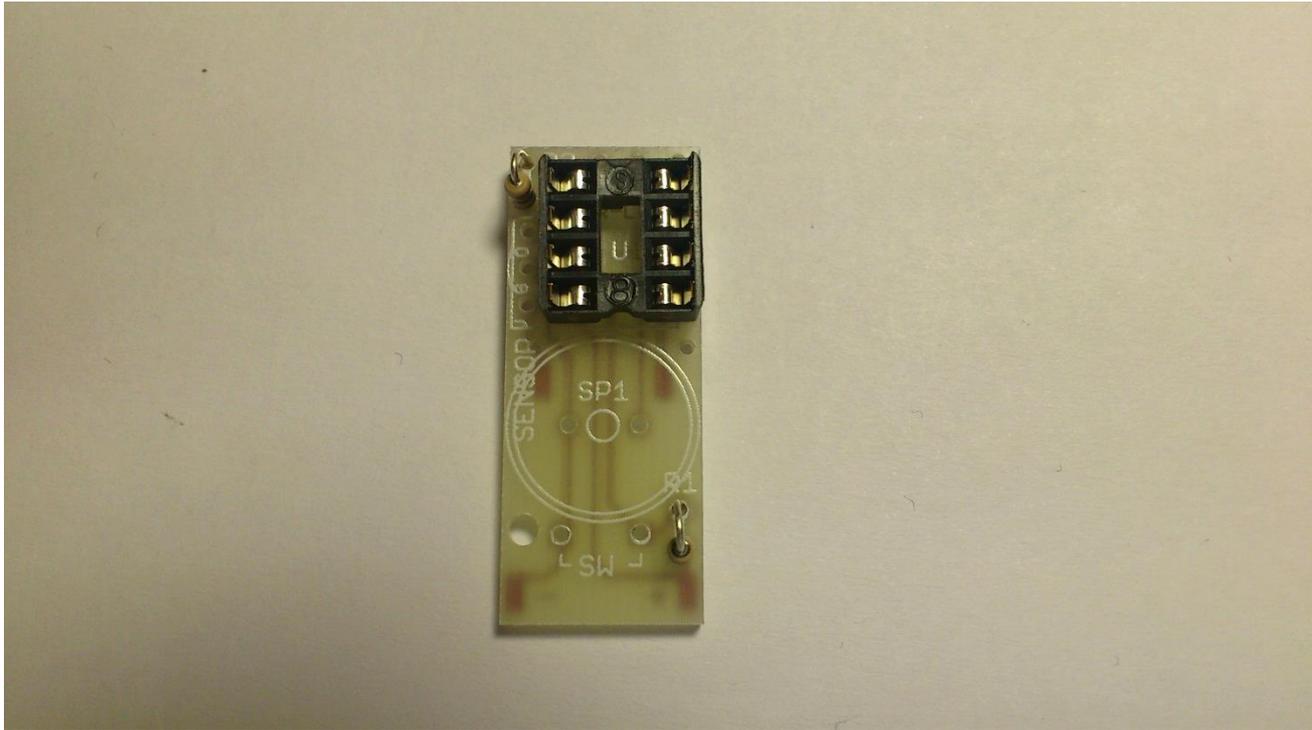
- ▶ ドリルで直径3.8~3.9mmの穴をあけます
- ▶ 穴の位置は二つのマークの中央

抵抗 (2個)



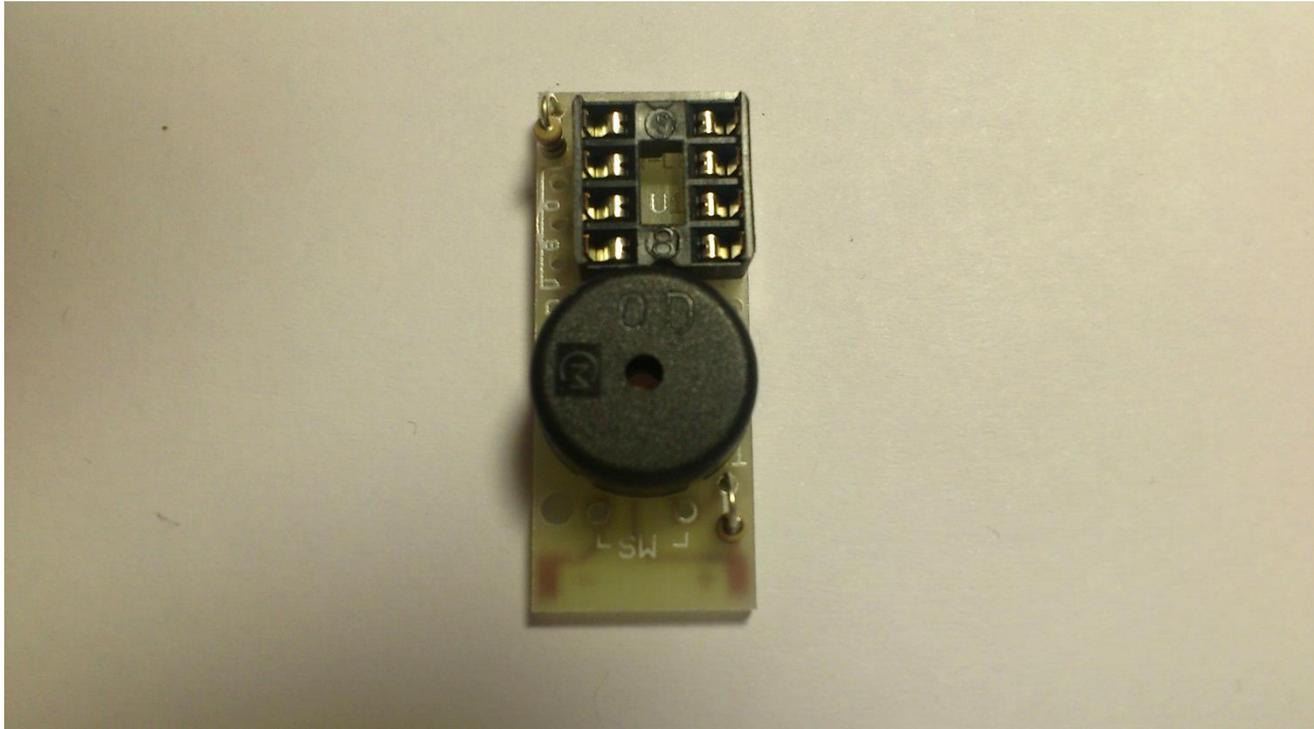
- ▶ 抵抗(2個)をはんだ付けします
- ▶ 向きはありません

ICソケット



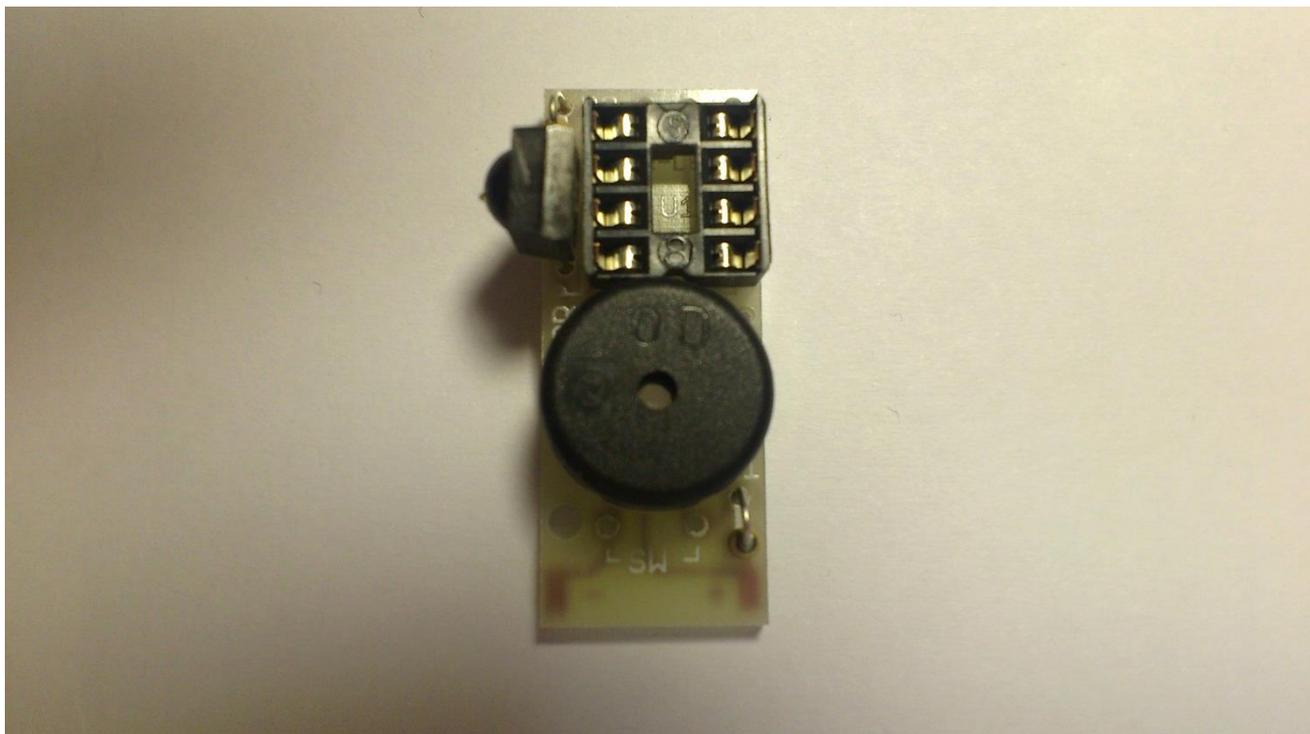
- ▶ ICソケットをはんだ付けします
- ▶ 切欠きが下になるようにします

ピエゾブザー



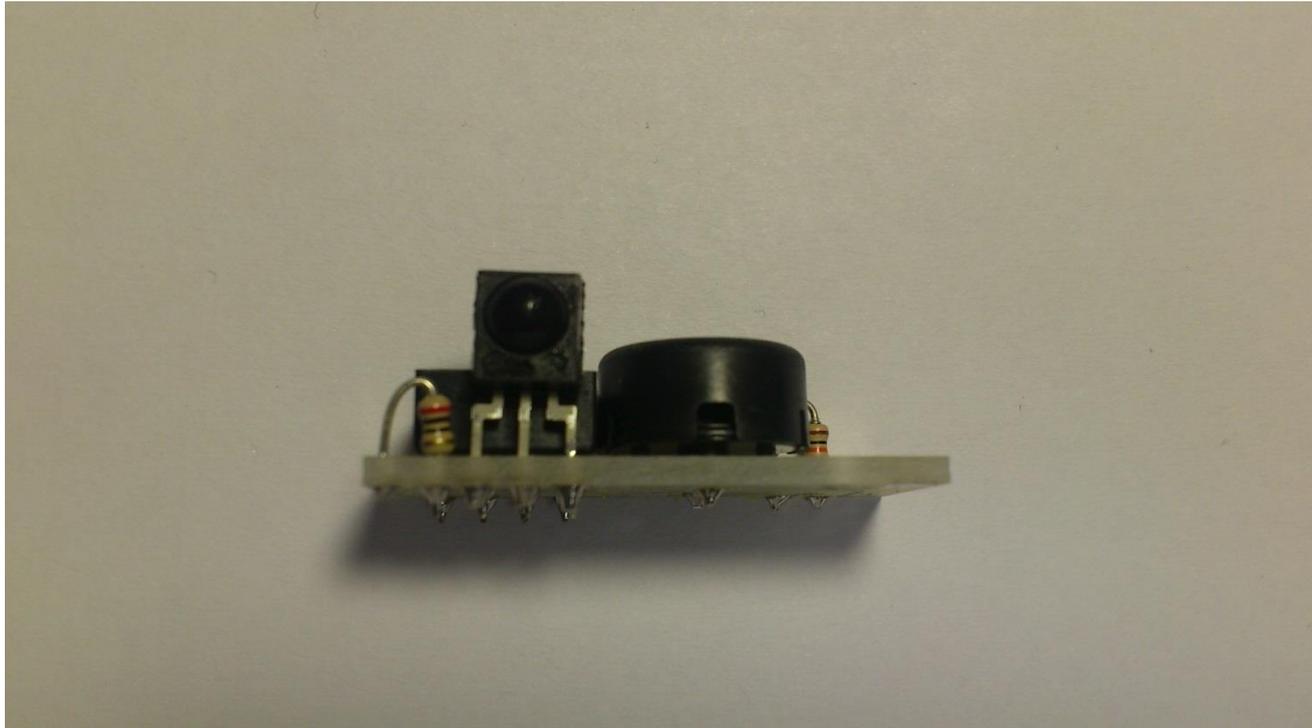
- ▶ ピエゾブザーをはんだ付けします
- ▶ 向きはありません

赤外線受信モジュール



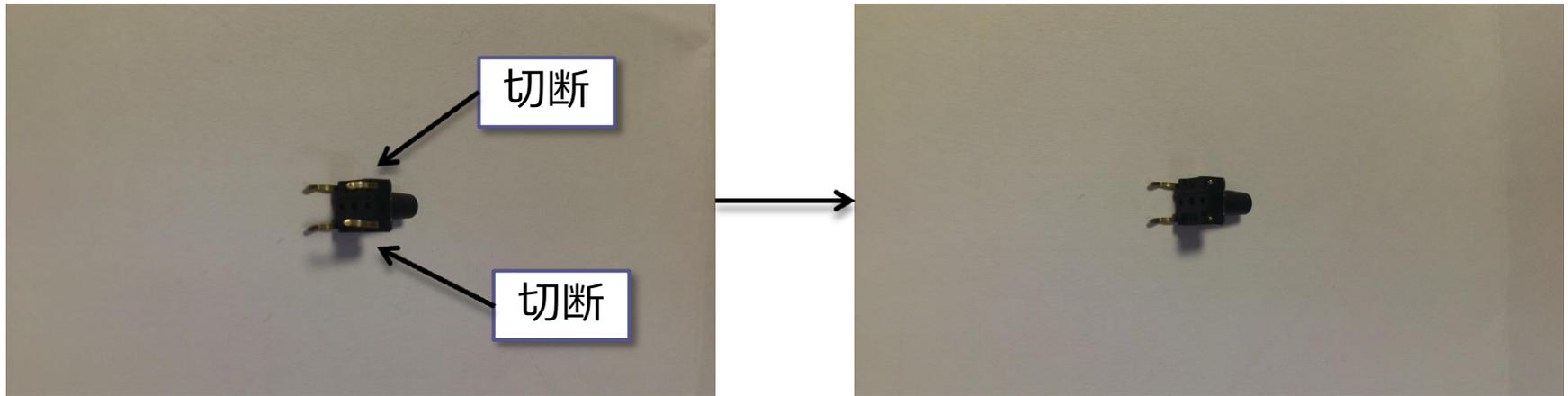
- ▶ 赤外線受信モジュールをはんだ付けします
- ▶ 向きに注意(丸い方が外向きになるようにします)

赤外線受信モジュール



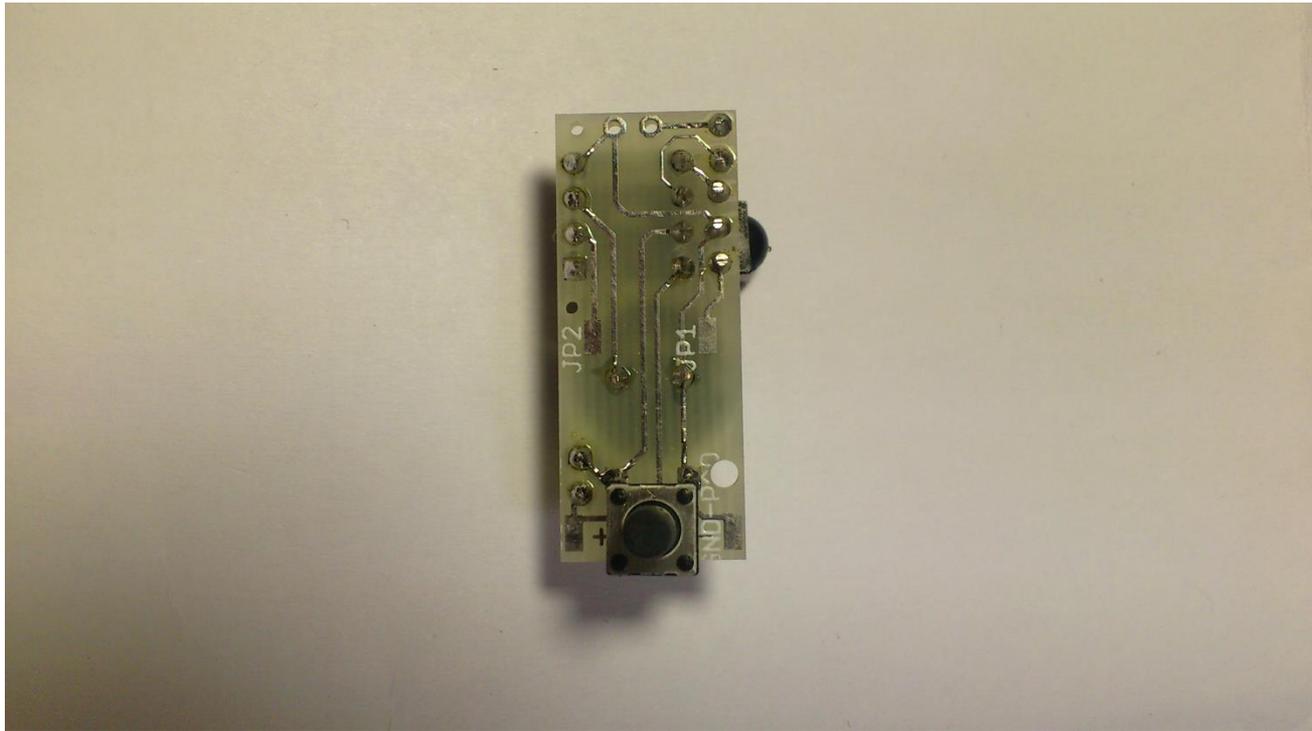
- ▶ 基板を横から見た図

タクテイルスイッチの加工



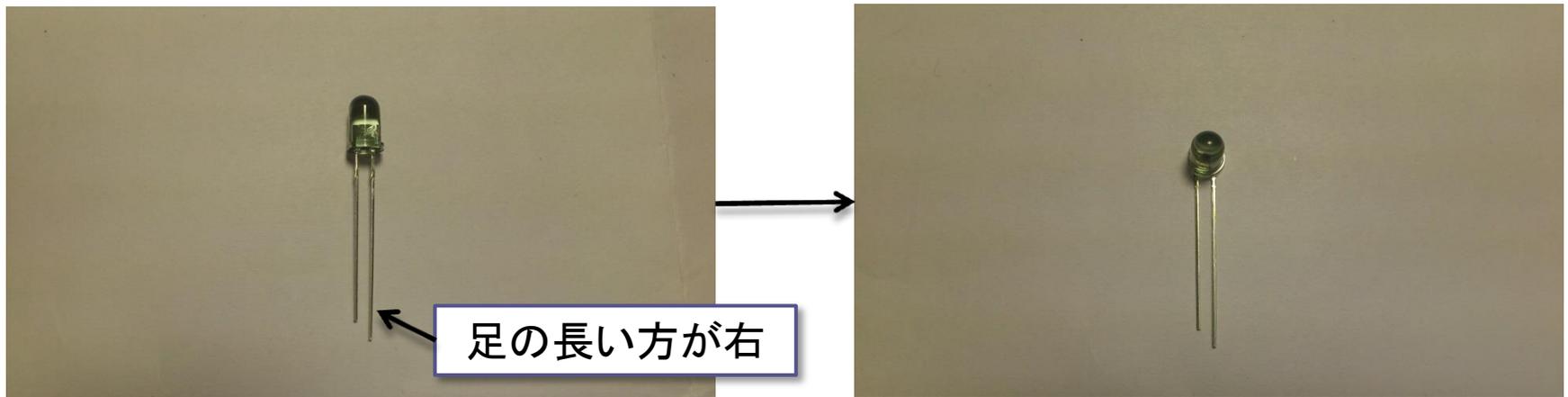
- ▶ 足を2本切断します

タクティルスイッチ



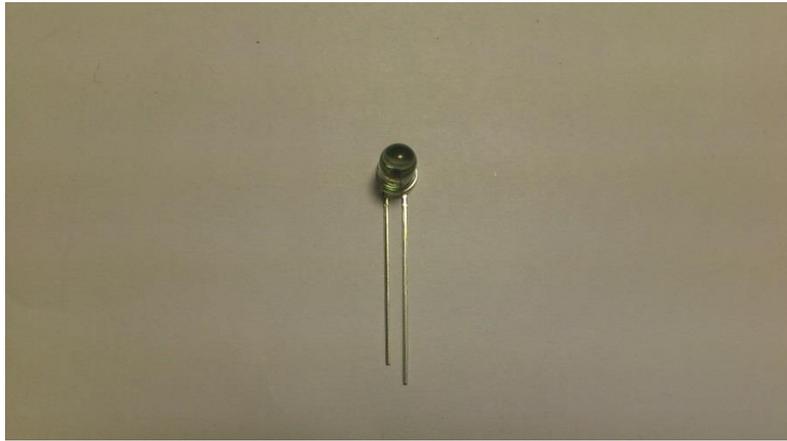
- ▶ 残った2本の足を基板の裏側から差し込んでハンダ付け
- ▶ 完全に奥まで差し込んでからハンダ付けしてください

赤外線LEDの加工



- ▶ 赤外線LEDの足を根元から直角に曲げます
- ▶ 向きに注意！！(足の長い方が右です)

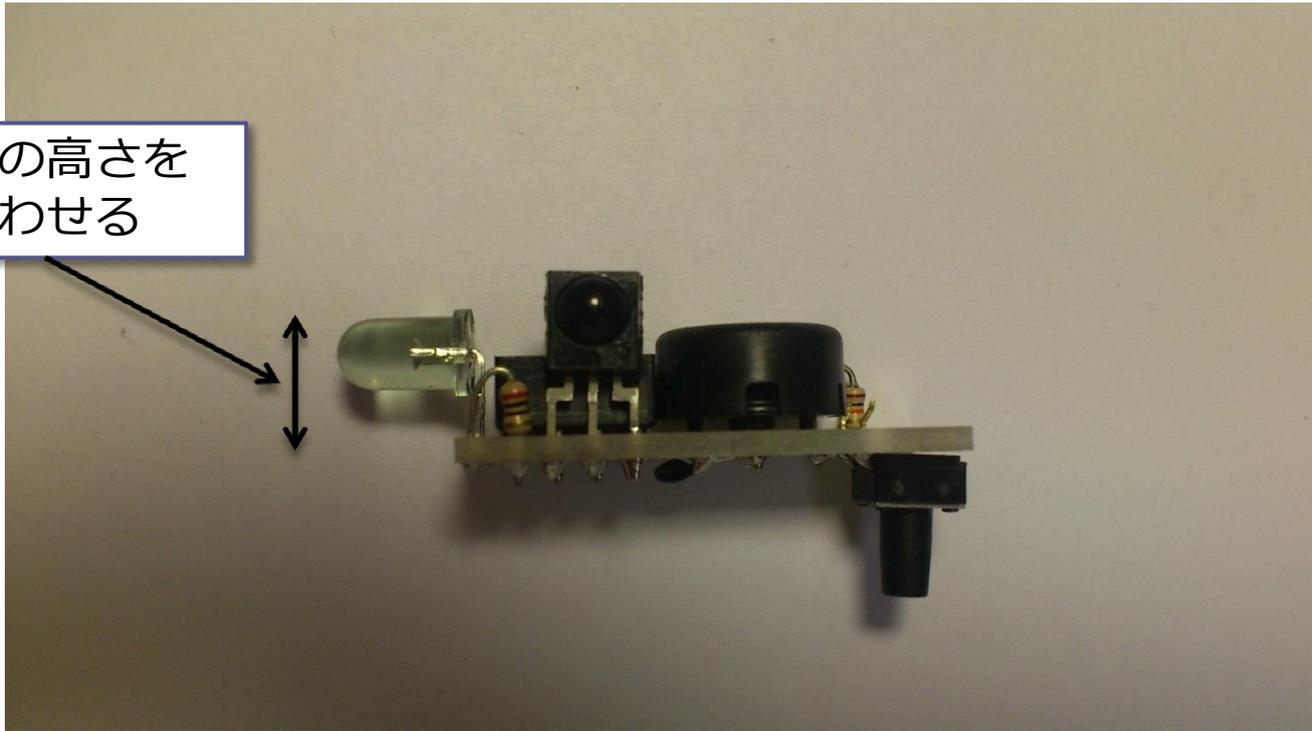
赤外線LEDの加工



- ▶ 横から見るとこうなります

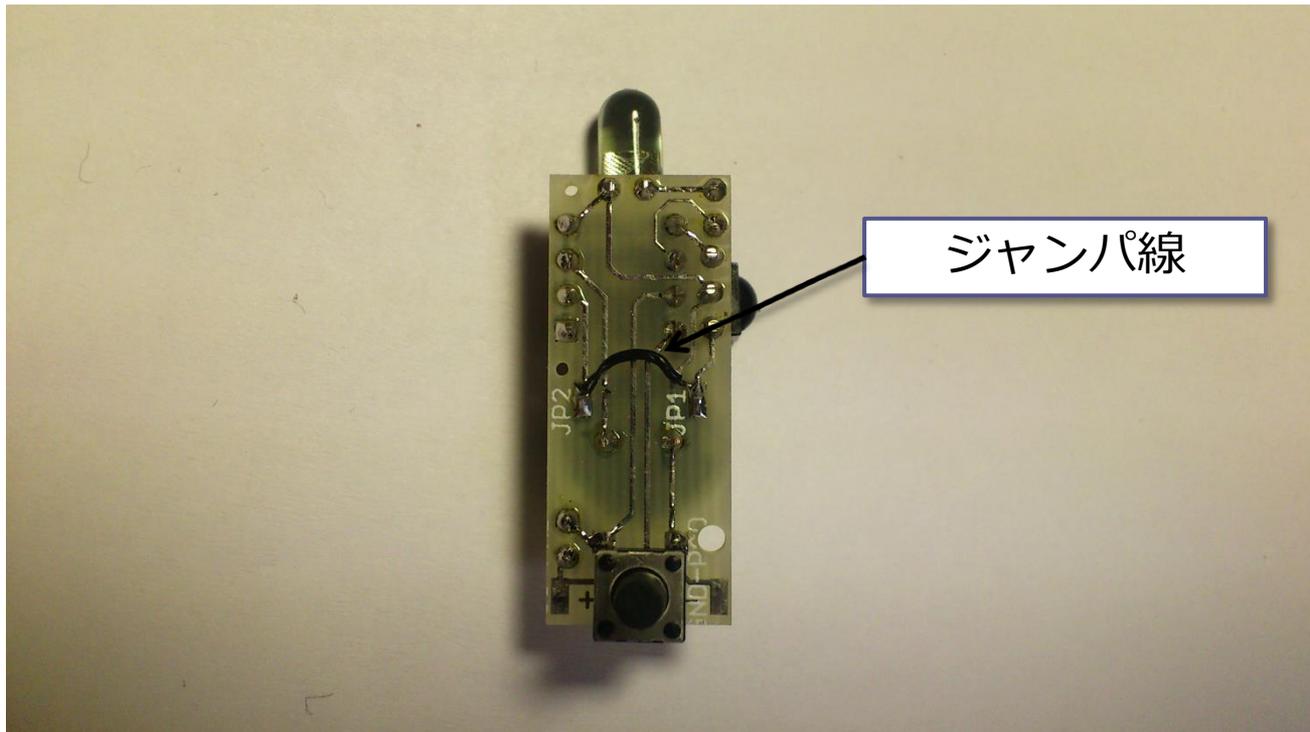
赤外線LED

ここの高さを
合わせる



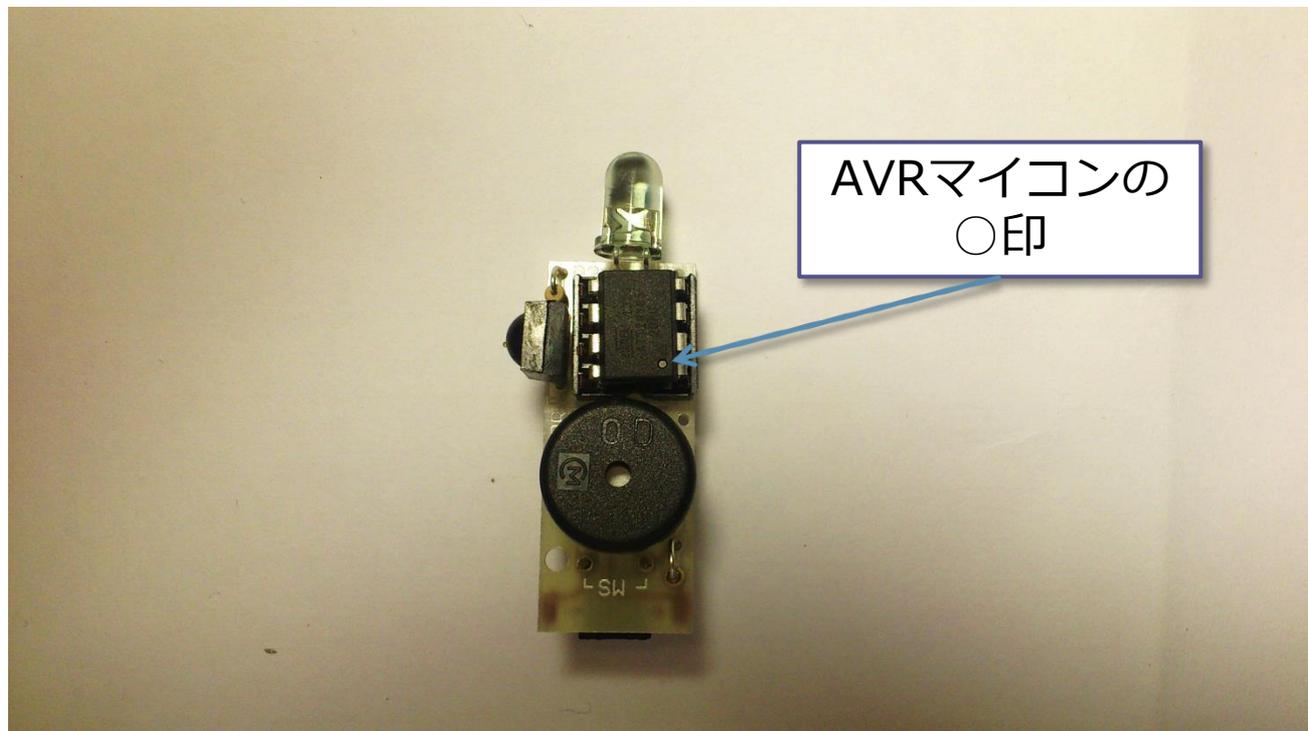
- ▶ 赤外線LEDをはんだ付けします
- ▶ 高さが重要です。高さを写真に合わせて下さい。

ジャンパ線



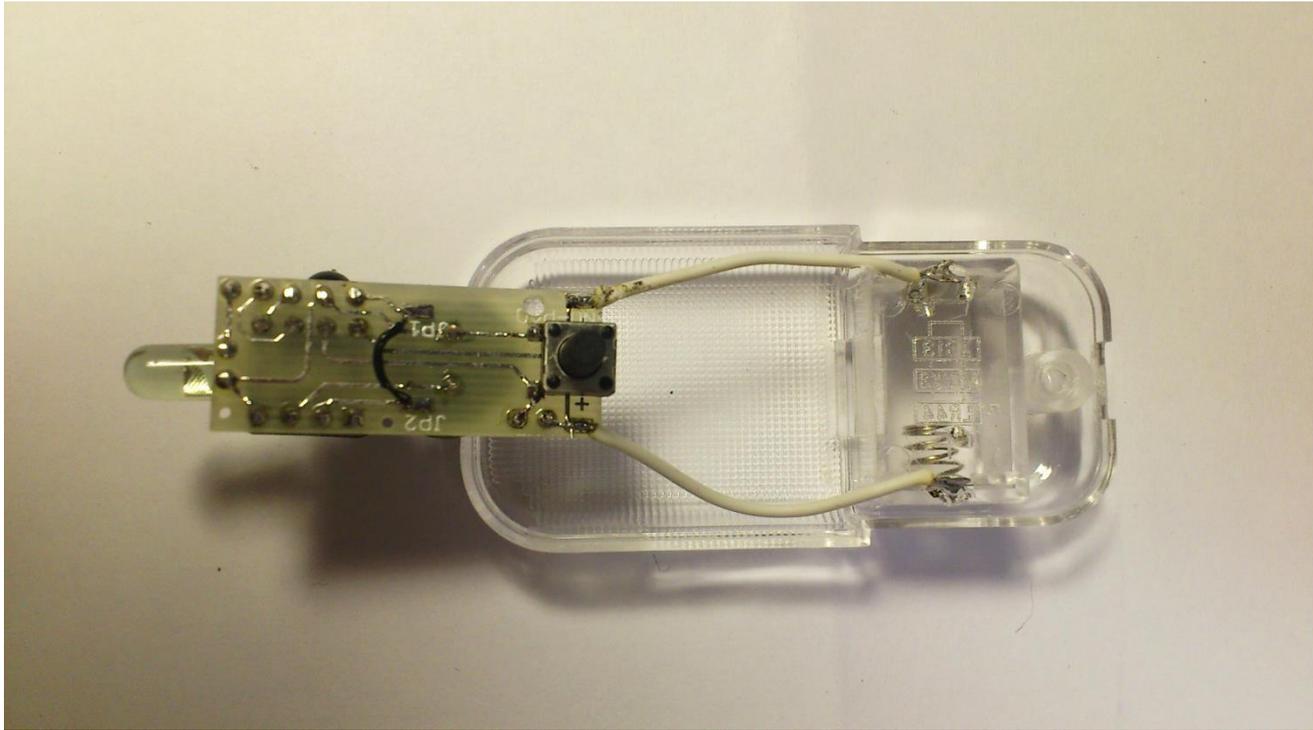
- ▶ 基板裏面の2個のパッド間をジャンパ線で接続します

マイコンの取り付け



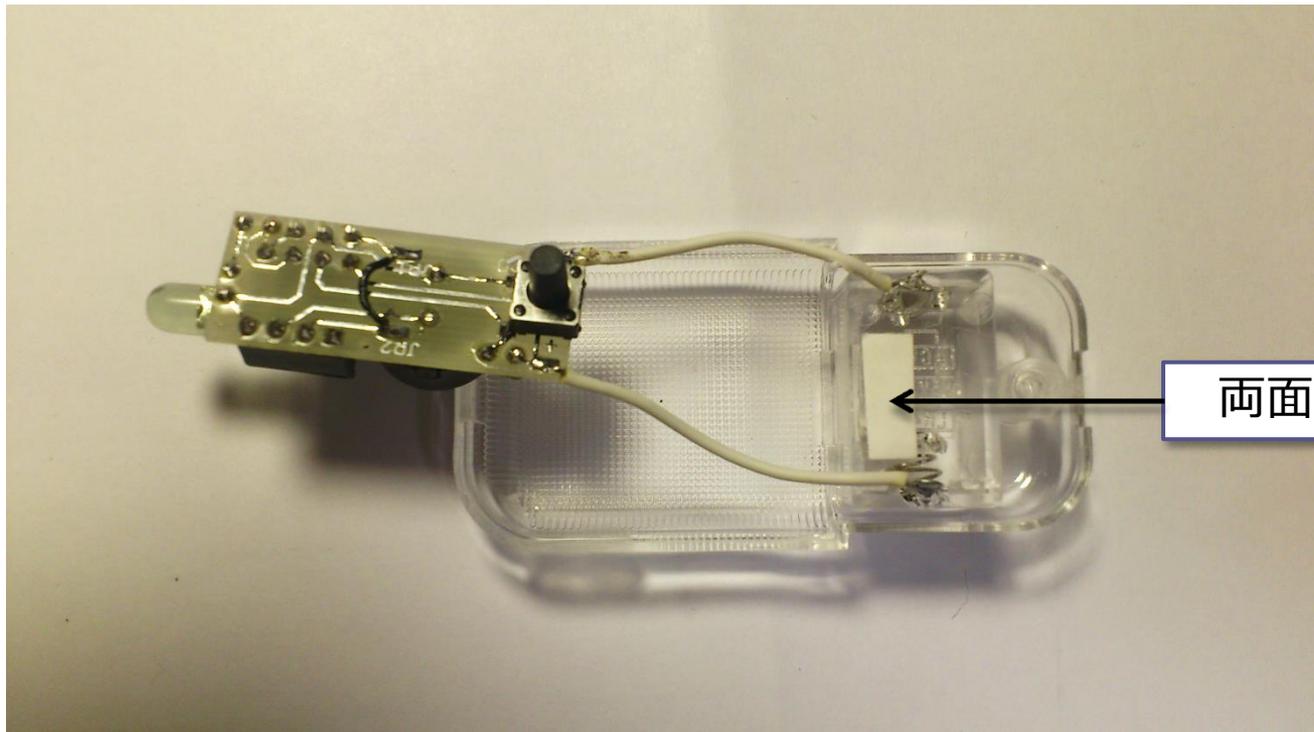
- ▶ AVRマイコンをICソケットに差し込みます
- ▶ 向きに注意！！(○印がある方が下向きです)

ケースへのはんだ付け



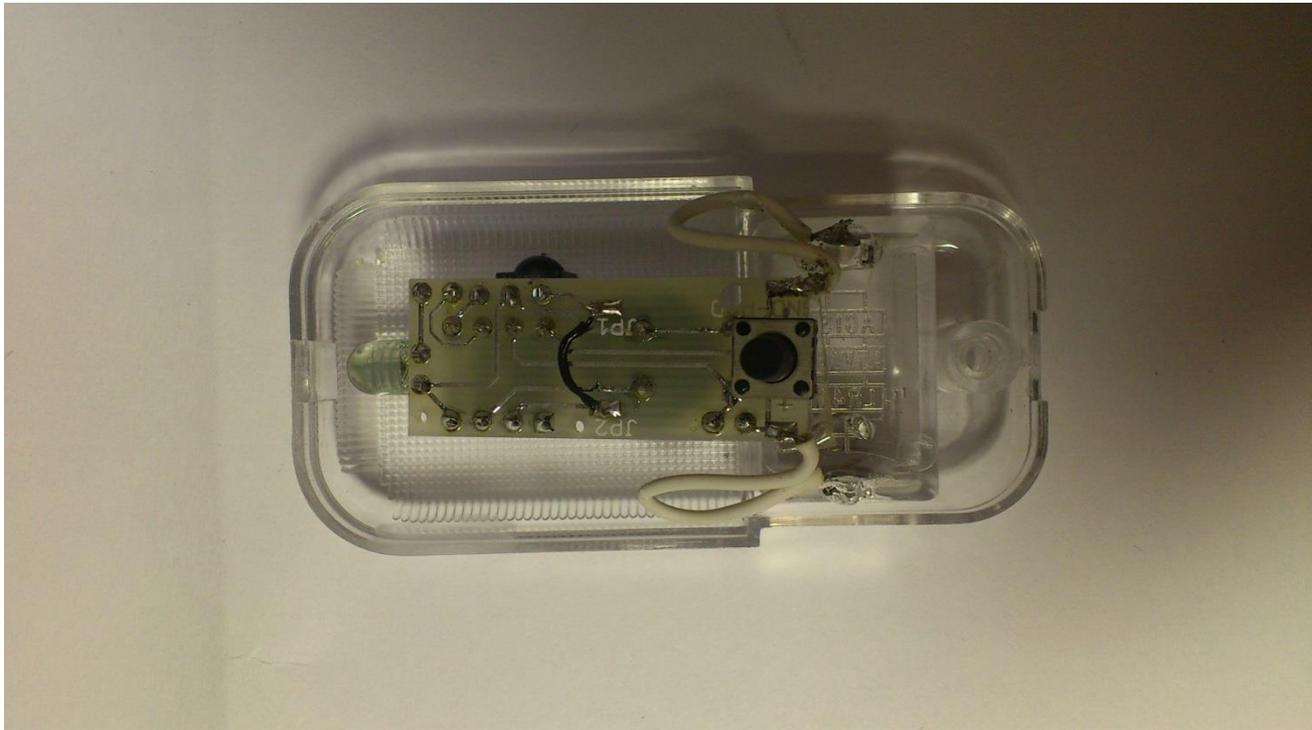
- ▶ 2本の電源ケーブルをはんだ付けします

両面テープ



- ▶ ケースに両面テープを付けます

基板の貼り付け



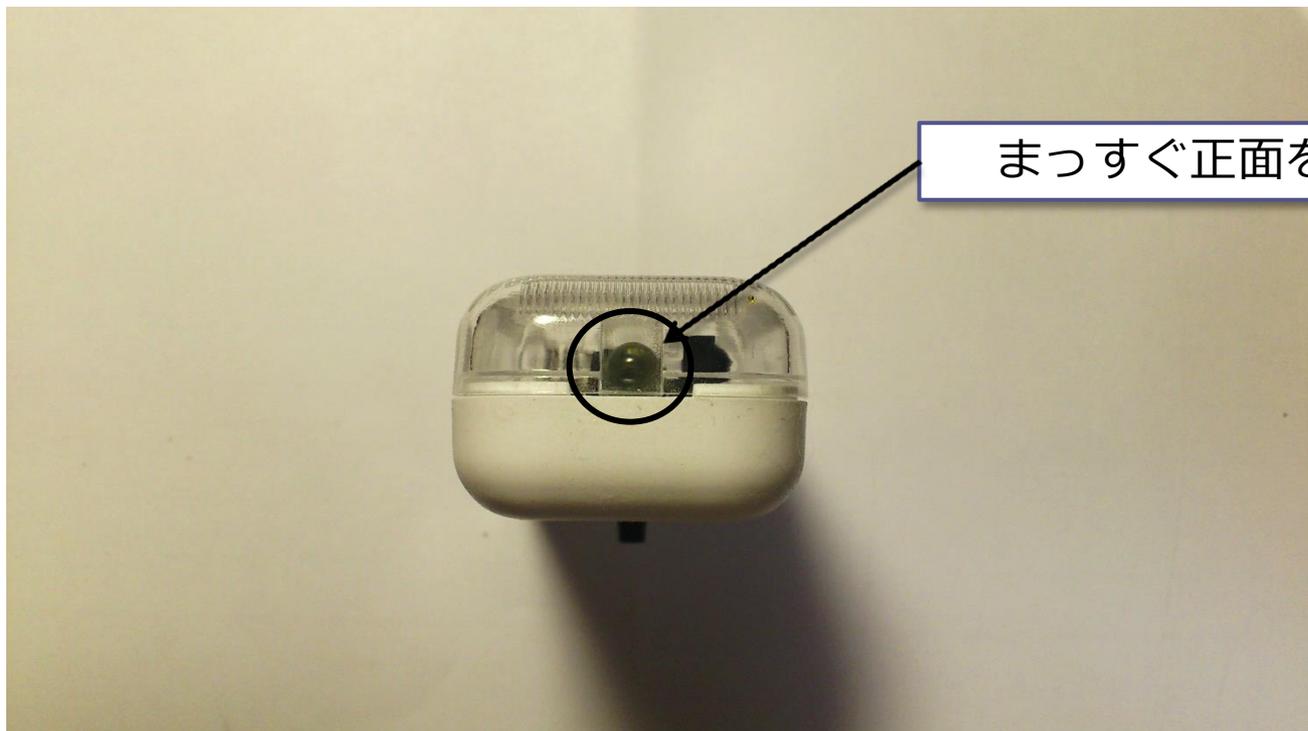
- ▶ ケースに両面テープでまっすぐ貼り付けます

裏ぶたをねじで閉める



- ▶ 電源ケーブルはすきまに押し込んでください
- ▶ タクティルスイッチはケースにあけた穴に差し込みます
- ▶ 基板はケースと裏ぶたにはさまれて固定されます

位置合わせ



- ▶ 正面から見て赤外線LEDがまっすぐになっているか確認してください。
- ▶ 曲がっているときはふたを開けて修正してください

完成



- ▶ 電池を入れて完成です

操作方法

▶ 学習

- ▶ 短く1～6回押して保存先を指定し、続けて2回(または3回)長押しした後に赤外線信号を受信すると学習する。

▶ 送信

- ▶ 短く1～6回押すと、メモリ1～6に学習済みの信号を送信する。

▶ 固定モード

- ▶ 1種類の信号だけ送信できればよい場合は、学習後に短く9回連続で押すと、固定モードになって反応が速くなる。固定モードは長押しで解除。

操作方法

No.	操作名	コマンド	説明
1	送信	短押し×[メモリ番号]回	[メモリ番号]は1~6。単純に短押しすると、押した回数に応じて学習済みのメモリの内容を赤外線送信する(つまりシングルクリックでメモリ1の内容を出力、ダブルクリックでメモリ2の内容を出力...という動作をする)。
2*	学習(モードA)	長押し×2回+赤外線受信	赤外線信号を学習する。記憶先は直前に No.1 で送信したメモリ番号。
3*	学習(モードB)	長押し×3回+赤外線受信	赤外線信号を学習する。記憶先は直前に No.1 で送信したメモリ番号。No.2との違いは、No.3で学習した場合、送信時に同じ信号を約40[ms]間隔で2回繰り返して送信する点。
4*	消費メモリ確認	短押し×7回	学習済みの信号が消費しているメモリ量に応じてBEEPを鳴らす。対象は直前に No.1 で送信したメモリ番号。BEEP1回が32バイト。
5	メモリ残量確認	短押し×8回	メモリ残量に応じてBEEPを鳴らす。BEEP1回が32バイト。
6*	固定モード	短押し×9回	固定モードに移行。固定モードでは短押しした瞬間に赤外線が送信される(通常モードでは短押しから赤外線の送信までにタイムラグがあるが、それが解消する)。固定モードにすると、直前に送信した1種類の信号しか送信できなくなる。固定モードは長押しで解除される。
7*	メモリ削除	短押し×11回	学習した赤外線信号を消去する。対象は直前に No.1 で送信したメモリ番号。
8	完全初期化	短押し×12回	メモリを完全に消去して初期状態に戻す。